

令和 5 年(2023 年)8 月 24 日

長野吉田高校 2 学期始業式あいさつ

教頭 西村哲応

皆さん、おはようございます。教頭の西村です。

2 学期開始にあたり、皆さんにお話をする機会を得られたので嬉しく思います。

私は 4 月に赴任してきて、以来、日々の授業やクラブ活動、生徒会、胸がすくような暁峰祭など、皆さんが頑張っている姿に感心させられる毎日でした。

この夏休みも、大変な猛暑でしたが、学習合宿や夏期集中講座、補習などの学習活動や、それぞれのクラブ活動に精一杯取り組んでいる姿にも心を打たれました。

3 年生の多くの方は、クラブ活動で一区切りついたと思います。これからは自分自身の進路に向けた努力を軸足に置きながら、まだ活動が続いている 3 年生の仲間や後輩たちへの励ましや応援をしてもらえると嬉しいです。

今日は、2 学期始業式にあたり、皆さんに 1 つ言葉をお伝えしたいと思います。

サッカーの世界的な指導者であります、「オシムさん」が教え子に語った言葉です。

オシム監督は旧ユーゴスラビア代表や日本代表の監督も務めた名将でしたが、昨年 80 歳で亡くなりました。

彼の日本での教え子が、ヨーロッパに住むオシム監督を訪ねて今後の展望を話した時のことでした。その教え子は、当時、選手としてはすでに引退されており、監督やコーチではなくスカウトをしていました。そのことを知ったオシム監督は、「お前、何でコーチをやらないんだ？」と尋ねたそうです。教え子が「指導者としてオシムさんには勝ち目がないから」「自分にとって最高の指導者はオシムさんです。オシムさんより良い指導者になれる自信がない」それで、「自分は指導者とは違う道で、自分らしくチャレンジしたい」と話したそうです。

オシムさんはそれを聞き「そうか、頑張りなさい」と励ました後、こう言いました。

「もっと上を見ろ。空は果てしない」

この言葉が今日皆さんに送りたかった言葉です。

「どうせ自分は」とか「どうせ自分にはできない」と「勝手に決めつけるな」、というエールの言葉だったと思います。

今日から始まる 2 学期、3 年生の皆さんは目標に向かって羽ばたく長い助走期間になります。2 年生の皆さん、クラブ活動や学習に充実の時を迎えます。1 年生の皆さん、高校生活にも慣れ、大きく飛躍するときです。

このオシムさんの言葉のように、皆さん一人ひとり自分自身の成長と未来のために、空を見上げ前に進んでください。

最後に。そうは言っても、生活していく中で、誰でも悩みや不安はあると思います。自分一人で解決できる人もいるかもしれませんが、誰かに話すことでその悩みや不安はものすごく減っていきます。誰でもいいから話をしてください。皆さんの周りの人はきっと耳を傾けてくれるはずです。もし近くに誰もいなければ電話や匿名で相談することもできます。話をすることで解決する方法は必ず見つかります。どうかそのことは頭の中に入れておいてください。

以上で終わりますが、今日も大変暑いですが、私は夏が一番好きです。まだまだ暑さが続くこの 2 学期。体調にはくれぐれも気をつけてください。

以上で講話を終わります。